

# 令和3年度 堺市精神保健福祉功績者表彰 受賞者一覧

## 個人受賞者

(※氏名は、五十音順)

氏名	功績
いけだに としや 池谷 俊哉	大阪精神科救急医療システムの緊急措置診察や措置診察において、精神保健指定医として急性期精神疾患患者の診察を行うなど、長年にわたり精神障害者の医療、社会復帰援助への貢献も大きく、その功績は顕著である。
かわべ けいこ 川邊 慶子	精神障害者相談員として、面談及び電話相談活動を行い、また平成21年に設立した家族SST交流会にて世話人代表として活躍され、貢献も大きく、その功績は顕著である。
くろだ けんじ 黒田 研二	堺市の精神保健福祉審議会及び精神保健福祉セミナーにおいて、10年以上にわたり、委員等を務めるなど、堺市の精神保健福祉への貢献は大きく、その功績は顕著である。
なかむら ましあき 中村 芳昭	平成23年9月から現在に至るまで、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付可否及び障害等級判定委員を務めるなど、精神保健医療への貢献は大きく、その功績は顕著である。
ながの はつとし 永野 初敏	平成9年に堺市鳳断酒会に入会以来断酒を続け、平成25年から5年間、堺市断酒連合会会長を務めるなど、後進者に尽力し精神障害者の社会復帰援助へ貢献も大きく、その功績は顕著である。
なや あつお 納谷 敦夫	精神科の医師として高次機能障害の治療やリハビリに努め、重度障害者のためのリハビリ施設ヘッドウェイ堺などの運営にあたり、堺市健康福祉プラザ生活リハビリセンターの嘱託医、同運営委員会委員長を務めるなど、精神障害者の社会復帰援助への功績は顕著である。
まえかわ たかみ 前川 尊美	堺のそみの会の会員として10年。翌年から堺市の委嘱を受けた相談員として活動しており、週1回の電話相談、月1回の対面相談を家族の立場として、現在もその責務に努めている。 また、他の会員とも協力しながら堺のそみの会の活動を支え、精神障害者の社会復帰に向けてのアドバイス等精神保健福祉の向上に寄与し、その功績は顕著である。

## 団体受賞者

(※団体名は、五十音順)

団体名	功績
家族 SST 交流会	家族 SST 交流会は、家族が元気になれる活動をめざして情報提供、語りや交流など積み重ね、家族としての気づきの力を高めあいながら、つながりの場をつくる活動を行っている。 相談活動においては、関係機関とのつながりを深めながら、年々件数が増加しており、社会貢献としての功績は顕著である。

以上